

2026 四方山話(01)

2026年 4月13日(月)

「豊臣兄弟 と 武田兄弟 !」 ※その2

豊臣さんと同じように、仲が良かったのが「武田兄弟」です。
「武田信玄」(兄)と「信繁」(弟)です。
「父親」(信虎)を駿河に追い出した後、
2人は藩内をまとめて、諏訪・信州に進出していきました。

水害予防の堤防工事を進め、田畑を増やしました。
そして諏訪に攻め込み、その後は信州に進み、とうとう越後の「龍」
「上杉謙信」と戦うことになりました。

武田信繁は、武田家のNo.2の重鎮＝副将となり力を発揮しました。
また「佐馬助」の唐名から、「典厩」(てんきゅう)と呼ばれました。
「典厩信繁」の誕生です。

今の長野市周辺「川中島」(善光寺平)一帯を巡って、上杉謙信と
10年以上も争いを続け、中でも永禄4年(1561年)の4回目の川中
島の合戦が有名です。

しかし、この合戦で「山本勘助」「武田信繁」等が戦死

信繁は、戦死した近くのお寺(鶴巣寺)に埋葬されました。
ところが、典厩寺にはもう1人の「典厩信繁」の碑があります。
⇒もう1人は、真田信繁です。

※武田の家臣「真田家」

真田昌幸の2人の息子が、兄・信之、弟・信繁です。

兄・信之は家康に仕え、故郷「沼田」「松代」を守りました。

弟・信繁は豊臣に仕えましたが、関ヶ原の合戦の後

父とともに、九度山に蟄居させられ・・・

⇒ その後、大坂の陣では、「幸村」と呼ばれ

豊臣方の大将として大活躍し、戦死しました。

真田家の二男だった「信繁」は、武田信玄の弟「信繁」
から名前をつけたものです。

※大坂夏の陣(1614年 慶長19年)大阪城は、炎上し豊臣家滅亡

※その後、兄・真田信之は寺名を「典厩寺」と改名しました。